

年長が植えて
みんなで育てて
いるジャンボひ
まわり大きくなっ
ています！
ぜひ見てね！



R5年 8月

吉川つばさ保育園



5日(土) 乳幼児の睡眠についての研修会
(参加される方はポスターQRコードから
お申し込みください)

17日(木) 避難・消火訓練
22日(火) お誕生会
★10時20分から行います

8日(火) 乳児身体測定
9日(水) 幼児身体測定

26日(土) なかよし広場

*8/14~8/16 登園人数により合同保育になります。

お知らせ・お願い

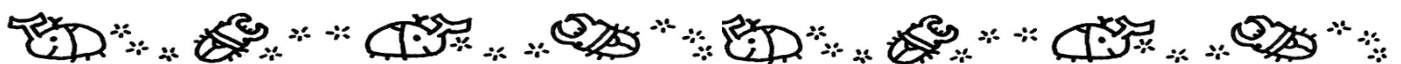
★8/17~8/30 1名、8/21~9/4 1名 学生が実習に入ります。

★9/1(金) すみれ組・幼児組の活動の中で「ごっこ遊び(お店屋さんごっこ)」を行います。今年もおもちゃ屋さんがOPEN! 保護者の方でおもちゃ屋さんのお手伝いをしていただける方を募集いたします。時間は10時から11時を予定しています。一緒に参加していただける方は8/25までに職員にお声掛けください。

★8月より保育士体験を再開いたします。ホワイトボードに予定表と詳細を掲示しますのでご確認ください、ご質問がありましたら職員にお声掛けください。

卒園児の保育士体験も本人の希望があれば可能です。その場合、保護者様はお子様のクラス、卒園児は他のクラスで体験をしていただく場合がございますのでご了承ください。

(卒園児が参加される場合は、お手伝い・お世話が出来るか保護者様が判断しお申し込みください)



保育目標

ひよこ→・栄養や休息を十分にとり、安定した生活リズムの中で元気に過ごす。

・暑い夏をゆったりと心地よく過ごす。

たんぽぽ→・水遊びや沐浴を通して水に触れ、気持ちよく過ごす。

・栄養や休息を十分にとり、安定した生活リズムの中で健康に過ごす。

すみれ→・水遊びをして、気持ちよく快適に過ごす。

・着替えや片付け等、自分でできることをやってみようとする。

さくら→・休息を取り入れながら、夏の時期を健康に過ごす。

・友達や保育者と一緒に水遊びなど夏ならではの活動や自然に触れ、親しみを持って楽しむ。

ひばり→・異年齢の友達と遊ぶ楽しさを味わいながら関わりを広げていく。

・身の回りのことを自分で行いながら、健康や安全の習慣を身につける。

つばめ→・活動と休息をとりながら元気に過ごす。

・夏の遊びや生活を通して経験を広げ、友達や異年齢児と楽しく関わる。

これからの大切な力

NHK で放送されている「あさいち」のコーナーの中で、自由研究についての特集がされていました。今、自分で課題を探してこたえを見つける力が求められています。(主体的・対話的で深い学び)

科学技術館では自由研究イベント(現在終了)が開催され色々な体験ができるようになっていますが、うまくできなかった時に答えを教えるのではなくヒントを掲示したり、なんでそうなるのか理由を考えるよう、どれも子ども自身が好奇心を持って自分で考えて発展させることを目的にしています。

つばさ保育園でも保育指針で示している3つの柱を日々心にとめながら、子ども達の知りたい・やってみたいを大切にしています。「どうなると思う?→(実際の活動や体験の結果) どうだった? どうなった?」と問うように心がけ、子どもが自分で考えて自分なりの表現ができるようにしています。

さらに特集の中で、「自由研究のテーマ探し」についてのヒントが紹介されていました。子どもの好きなものを一つ挙げ(例:納豆)そこからイメージするものを枝分かれさせていき(ネバネバ、糸)何でそうなるのかを考えると良いとありました。

保育園でもこれを参考に、子ども達で話し合ったり、考えたり、自分たちで参画したりする場を取り入れていけたらと思います!ご家庭でも、お子様がイメージしたことを「なんでそうなるのだろうか?不思議だね?」から次に発展したり、お子様の心が動く瞬間を大切にしていだけたらと思います。

うちの子いつもひとりで遊んでいるけど大丈夫?

子育て支援担当

保育園の様子を見て「うちの子いつも一人で遊んでるけど、お友達いないのかしら…?」と心配される保護者の方も少なくないと思います。ひとり遊びばかりしているのは、今は一人遊びが楽しい時期だからです。一人でばかりいることは“いけないこと”ではありません。

一人でも、とことん遊ぶ姿は、人としての力強さと自己肯定感の現れとも言えます。自分の好きなことを貫く姿勢や取り組みは、これからの成長に大きな可能性を感じます。一人で遊んでいるのは「しっかりと自分の中で楽しさを見つけられる」子どもであり、最後までやりきろうとする「頑張り屋さん」なのです。

「このあとの成長の中で、仲間遊びなどができなくなるのでは…」と先回りの心配をする気持ちにもなるでしょう。しかし人と人との関わりは、その子の個性や、それまでの関わり、相性、クラスの関係性などによっても変化していきます。まずは“一人遊びも成長する過程の一つ”と長い目で見守っていきましょう。

失敗することはすばらしい!!

子育て支援担当

「失敗したらかわいそう」と心配するあまり大人が手を出してしまうことはよくあることですよ。今の子どもは人前で失敗することに慣れていません。「やってみたい」という気持ちがあっても「失敗したら恥ずかしい」「うまくいかなかったら怒られる」というマイナスの意識が「やってみよう」という気持ちを隠してしまうのです。

失敗を失敗で終わらせず、リカバリーできた経験は自己肯定感や達成感満足感を味わわせ、次に進む意欲を育みます。この繰り返しで子どもは色々なことを身につけていきます。成功や失敗という結果にこだわらず、「失敗した時こそ、次に伸びるチャンス!」と考え、子ども自身がゴールにたどり着くことができるようそっと後ろから支えていきましょう。